

## 東京都北区自立支援協議会 令和3年度専門部会活動報告

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、書面開催や参加人数の縮小など、感染拡大の防止に留意しつつ活動を行ったため、例年に比べ活動回数が少なくなっている。

### 1. 相談支援部会

#### (1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	指定相談支援事業者 (北区障害者地域活動支援室 支援センターきらきら)	横手 美幸	部会長
2	知的障害者団体代表 (社会福祉法人つみぎ)	中嶋 郷子	
3	指定相談支援事業者 (就労・生活支援センター飛鳥晴山苑)	久島 由季菜	
4	委託相談支援事業者 (北区障害者基幹相談支援センター)	阿佐 絵見子	部会専門
5	児童発達支援センター (係長)	北岡 由紀	部会専門
6	滝野川健康支援センター (係長)	岡田 幸子	部会専門
7	王子障害相談係 (保健師)	富田 明子	
8	赤羽障害相談係 (保健師)	篠塚 美木	
8	障害福祉係 (係長)	落合 勝	庶務担当
9	障害福祉係	中島 瑞奈	事務補助

(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (敬称略)

#### (2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和3年7月6日(火) 十条台地域振興室会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の活動方針について</li> <li>・措置入院者への退院後支援の開始について</li> <li>・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」関連について</li> </ul>
第2回	令和3年10月26日(火) 十条台地域振興室会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会 (事例を通して相談支援の現状及び課題について協議検討)</li> </ul>

※令和4年1月に第3回目を予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の適用に伴い中止

### (3) 検討事項

北区障害者計画 基本目標1「自分らしく生き生きと暮らすために」 施策目標1「相談支援の充実」 施策目標2「障害者福祉サービスの充実と質の向上」 施策目標3「保健・医療サービスの充実」 施策目標4「障害のある子どもの療育・保育・教育の充実」
---

### (4) 検討内容

#### ①措置入院者への退院後支援の開始について

区の健康支援センターに専門職1名（精神保健福祉士）が配置され、措置入院患者が退院後に地域生活へ円滑に移行できるようにしていく支援が開始された。

#### ②「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」関連について

北区の第6期北区障害福祉計画において、保健、医療、福祉関係者による協議の場を通じ「にも包括」構築を進めることが目標に掲げられている。今年度より「にも包括」構築推進のための協議の場が設置・開催され、「にも包括」の構築に向けた協議・検討が開始された。

➤ 「にも包括」は全ての障害の方々が対象となる。引き続き部会においても協議の場について報告・共有をはかり、場合によっては部会で協議していく。

#### ③事例検討について

事例（ご家族の高齢化が課題となっている事例）を通して相談支援の現状及び課題について協議検討を行った。

#### ④相談支援の現状や課題についてのご意見

##### ○当事者と家族の高齢化について

- ・家族の高齢化、親に何かあった場合に懸念のあるご家庭に介入する難しさがある。また、当事者の高齢化が進みサービスの導入が以前と比べ増加し、早急にホームヘルプサービス導入が必要な方が増えており、サービス導入にあたっての事業所探しの課題もある。

##### ○児童発達支援の相談増加について

- ・他機関との連携等、包括的にコーディネートする必要性を感じている。
- ・親子共に障害がある場合、家庭に関わる支援者がたくさんおり、問題が起きた際の役割分担や支援の方向性の相違等、難しさがある。

- 児童発達支援の相談増加に伴い、相談支援専門員やその他支援者の確保が難しい。

○相談支援事業所の質の向上、スキルアップに関すること

- 相談支援事業所のレベルアップが今後の課題であり、アセスメントをする相談支援事業所の力量が重要。
- サービス等利用計画書やモニタリング等において課題が見受けられる。
- 基幹相談支援センターが相談支援事業所との関係性を築く中で、相談や課題が上がってくるのではないか。その中で、皆で共有した方がいいことについては、相談支援事業者連絡会等で検討してもらうことで、スキルアップしていくのではないか。

## 2. 地域生活部会

### (1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	身体障害者団体代表（NPO 法人ピアネット北） ／北区障害者基幹相談支援センター	井上 良子	部会長
2	身体障害者団体代表（北区聴覚障害者協会）	大八木 剛	
3	精神障害者団体代表（NPO 法人わくわくかん）	古場 亜希	
4	地域住民代表（北区民生委員児童委員協議会）	石井 清貴	
5	地域住民代表	橋爪 英章	
6	共同生活援助事業所（社会福祉法人さざんかの会）	野口 正廣	部会専門
7	障害者福祉センター事業係（係長）	高橋 靖史	部会専門
8	王子障害相談係（身体障害者福祉司）	森澤 亜希子	庶務担当
9	赤羽障害相談係（知的障害者福祉司）	藤平 匡央	庶務担当
10	赤羽障害相談係（係長）	岩崎 智子	庶務担当

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）（敬称略）

### (2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和3年11月1日（月）	・施設見学会 ららたきのがわ（グループホーム） しょうとう苑（グループホーム）
第2回	令和3年11月29日（月） 北区立障害者福祉センター 第2ホール	・施設見学会の振り返り ・北区障害者計画2021について ・その他

### (3) 検討事項

北区障害者計画 基本目標2「安心して地域で暮らすために」 施策目標2「多様な生活の場の整備」 施策目標3「安全・安心な暮らしの確保」 施策目標4「文化芸術・スポーツ・余暇活動の推進」
--

### (4) 検討内容

- ①グループホーム施設見学及び振り返り
- ・入居者の意見も聞きたい。

- ・重度身体障害者、強度行動障害者の受け入れを広げていく必要がある。
- ・精神障害者のショートステイが必要。
- ・自立生活に向けた体験の場も必要なのではないか。
- ・グループホームの整備と合わせて、日中活動の場の整備も大切。

## ②北区障害者計画2021について

北区障害者計画 2021、北区障害者関係機関ガイドブック 2021（北区障害者基幹相談支援センター発行）より抜粋した資料を基に意見交換をした。

### ○グループホームの現状

- ・身体障害者が入居可能なグループホームが少ない（現:8名）。
- ・身体障害者対象の場合、トイレや風呂などのバリアフリーはもちろん、廊下や扉なども広くする必要があり、予算面の問題がある。
- ・介助に人手と費用がかかるので、手をあげる事業所が少ないのではないか。
- ・ちららたきのがわ入居希望者が 47 名で、身体障害者の希望は内 10 名だったとの事だが、この数字をどうとらえるのか難しい。
- ・本人の希望と親の意見は、意向調査だけでは読み取れないのではないか。

### ○入所施設の現状

- ・23 区中入所施設がないのは、5 区（北区・千代田区・江東区・墨田区・荒川区）
- ・その他の区では、20 名規模の入所施設が多い。
- ・整備を進める上で都外の入所施設の人数も参考にしているかどうか。

### ○短期入所の現状

- ・北区ではグループホームをつくる時、ショートステイを必ず設置することをお願いしている。
- ・精神障害者、医療的ケアの受け入れ先がない。

### ○生活介護の現状

- ・障害者センター、飛鳥晴山苑ともに定員ひっ迫している。
- ・旧桜田学級棟に多機能型（就労継続支援 B 型、生活介護）開設予定。
- ・精神障害者にも必要。
- ・デイケア減少、デイケアに通うため通院先を変更せざるを得ない場合がある。
- ・自立訓練卒業後、入院してしまった方がいた。生活介護があれば入院しなくてすんだかもしれない。

○就労継続B型の現状

- 利用者、親の高齢化問題がある
- 立ち仕事が難しくなった利用者が多くなった

### 3. 権利擁護部会

#### (1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	精神障害者団体代表（NPO 法人北区精神障害者を守る家族会飛鳥会）	吉田 耕一	部会長
2	北区社会福祉協議会（権利擁護センター「あんしん北」）	飯野 加代子	副部会長
3	身体障害者団体代表（北区肢体不自由児者父母の会）	田中 淳子	
4	身体障害者団体代表（北区視覚障害者福祉協会）	遠藤 吉博	
5	地域住民代表（自立生活センター・北）	小田 政利	
6	知的障害者団体代表（北区手をつなぐ親愛の会）	丹野 克哉	部会専門
7	王子障害相談係（主査）	大月 美香	
8	王子障害相談係（知的障害者福祉司）	白石 磨佐人	
9	赤羽障害相談係（身体障害者福祉司）	高橋 雅信	
10	王子障害相談係（係長）（障害者虐待防止センター所長）	干台 康志	庶務担当
11	障害福祉係	吉田 純	事務補助

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）（敬称略）

#### (2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和4年2月4日（金） 【書面開催】	・障害者・高齢者虐待防止啓発講演会の参加

#### (3) 検討事項

<p>北区障害者計画 基本目標3「ともに支えあう地域社会をめざして」            施策目標1「福祉のまちづくりの推進」            施策目標2「地域交流の促進と差別解消及び権利擁護の推進」</p>
--

#### (4) 検討内容

##### ①障害者・高齢者虐待防止啓発講演会

新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大が継続している状況を踏まえ、部会として参加予定であった「障害者・高齢者虐待防止啓発講演会」が感染拡大防止のため Zoom ライブ配信に変更になったことに伴い、書面開催に変更となった。

## 4. 就労支援部会

### (1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	教育・就労関係代表（就労支援センター北）	小島 靖子	部会長
2	教育・就労関係代表（就労支援センター北）	木村 和広	副部会長
3	地域住民代表	田中 佐季	
4	教育・就労関係代表（都立王子特別支援学校）	松井 裕	
5	教育・就労関係代表（王子公共職業安定所）	多田 修	
6	教育・就労関係代表（王子公共職業安定所）	國武 力	部会専門
7	就労継続支援B型事業所（社会福祉法人さざんかの会）	森 将知	部会専門
8	就労継続支援B型事業所（社会福祉法人あゆみ）	豊岡 学	部会専門
9	教育・就労関係代表（就労支援センター北）	横山 雅之	部会専門
10	障害福祉係	中村 淳	庶務担当
11	障害福祉係	吉田 純	事務補助

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）（敬称略）

### (2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和3年9月16日（木） 【Web開催】	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の活動方針について</li> <li>就労支援フェアについて</li> </ul>
第2回	令和4年2月21日（月） 【Web開催】	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援フェアの実績報告、反省等について</li> <li>北区障害者計画の進捗状況について</li> </ul>

### (3) 検討事項

北区障害者計画 基本目標2「安心して地域で暮らすために」 施策目標1「障害のある人の就労の拡大」
---

### (4) 検討内容

#### ①就労支援フェアについて

感染防止対策をしながらできる取組みを検討し実施した。

- ・就職している障害者の方の講演会（事前収録動画を視聴）
- ・就労支援センター北、ハローワーク王子による相談コーナー
- ・ハローワーク王子による面接



面接会参加業者：城北信用金庫本部・王子営業部  
日本貨物鉄道 株式会社  
図書印刷 株式会社

○委員からの主な意見

- フェア開始当初は働いてみようという気持ちを作るために行ってきたが、そういった役割は終えてきているように感じる。
- フェアに参加する意義も多様化しており、目的をどこに設定するか、どういった層をターゲットにするのかを検討しなおす時期にきている。
- 本人、家族の高齢化に伴い、センターが仕事を探すだけでなく生活支援が増えていると感じる。就労支援センターとして仕事を探すだけでなく、維持していくことが重要になってきている。

○委員からの提案のあった課題

- 障害者雇用に意欲のある小規模事業者も地域としてフォローしていく必要がある。
- 今まで通りの働き方を拡大していくというのではなく、多様な働き方を作り出していくタイミングに来ているのではないか。
- 就労支援部会として高齢化問題をどのように捉えて、何を支援していくかという課題を整理したい。
- 報酬改定において、地域や地域住民と協働した取組等の評価が新設された。地域で本人たちが生き生きと活躍できる場としていきたい。
- 今までは就労を目的としてきたが、その先を見据える時期が来ているようにも感じる。
- 仕事を探すよりも、生活基盤の安定（生活保護の申請等）が必要なケースもある。

## 5. 医療的ケア児・者支援部会

### (1) 部会委員構成

No.	区分	所属等	氏名
1	学識経験者	武蔵野大学名誉教授	川村 匡由
2	保健医療代表	北区医師会	須賀田 元彦
3		北区訪問看護ステーション連絡協議会	平原 優美
4	障害福祉代表	都立北療育医療センター	田邊 靖志
5		社会福祉法人晴山会	高橋 美子
6		社会福祉法人つみき	小池 敏之
7	教育代表	都立北特別支援学校	渡邊 涼
8	関係行政機関 事務局	健康推進課長	氏江 章
9		健康福祉部副参事（地域保健担当）	稲垣 智一
10		地域医療連携推進担当課長	藤野 ヌキ
11		障害者福祉センター所長	土屋 隆
12		教育総合相談センター所長	佐藤 已喜人
13		保育課長	土屋 修二
14	事務局	障害福祉課長	田名邊 要策

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）（敬称略）

### (2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和3年12月14日（火） 北区役所第一庁舎 第二委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律について</li> <li>・医療的ケア児の現状や課題について</li> <li>・医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた検討について</li> <li>・障害児支援の提供体制の整備等に関する目標の進捗状況について</li> </ul>

### (3) 検討事項

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療的ケア児・者支援のための関係機関相互の連絡調整及び情報共有</li> <li>2 医療的ケア児・者支援のための地域の課題や対応策</li> <li>3 その他医療的ケア児・者支援に必要な事項</li> </ol>
---

#### (4) 検討内容

##### ①医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律について

令和3年6月成立、公布、9月18日施行

- 保育所、学校の設置者等の責務：在籍する医療的ケア児に対して看護師等を配置することやその他の必要な措置を講ずるなど、適切な支援を行う。
- 国、自治体の責務：保育所、学校等に対する支援、医療的ケア児及び家族の日常生活における支援などの施策を実施する。
- 都道府県知事が設置する医療的ケア児支援センター  
どこに相談すれば良いか分からない医療的ケア児やその家族の様々な相談について総合的に対応する。市町村等は、医療的ケア児支援センターや地域の医療的ケア児等コーディネーターの仲介等により、支援に当たっての協力関係を構築し、医療・福祉・教育・就労に係る関係機関が情報を共有しながら支援を実施していく。

##### ○委員からの主な意見

- 重症心身障害児の実数は、行政でも把握が難しい実態がある。
- 以前に、医療的ケア児を支援するサービス事業者が大変少ない、広報が進んでいないという課題を整理した。今の北区での実態をぜひ何らかの方法で形にできると、次の課題がより明確になるのではないか。

##### ②医療的ケア児の現状や課題についての紹介 《オブザーバー》

きた医療的ケア児者家族会の小島敬子氏から、医療的ケア児の現状や課題についてご紹介いただいた。

- 医療的ケア児・者の受入れ先（保育園、学校、学童クラブ、放課後等デイサービス、生活介護等）がない、少ない。
- 保護者の負担が重く、就労に支障が出てしまう。
- 停電時の電力確保は、人工呼吸器の使用者にとって深刻な課題
- 被災時に避難場所をどうするか。

##### ○委員からの主な意見

- 医療的なケアの必要な方の日中活動の場が必要
- 区市町村の事業の中で、看護師の配置等を含めて取り組んでいただきたい
- 医療的ケアを行うための研修など、医療的ケアができる人材の確保の取り組みが必要
- 災害時については電源確保も考えつつ、同時に、電気を使わないでしのぐ方法も積極的に考えていかななくてはならない

- ・就学前の保育サービスと特別支援学校で保護者の負担が異なる状態。学校として、できるだけ保護者の負担を減らすことができるよう努力はしているが、まだ社会の要請とは少し乖離していると感じている。

※北区の対応

- ・日常生活用具の購入費助成の品目の中に自家発電機、蓄電池等を加えた。  
(令和4年度～)

③医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた検討について

- ・都のコーディネーター研修を修了した相談支援専門員、保健師、訪問看護師等の専門職を区内で少なくとも1名配置
- ・関係機関とも協議し、配置場所、委託などの配置方法について検討していく

※第2期北区障害児福祉計画において、令和5年度末までに配置することを目標としている

④障害児支援の提供体制の整備等に関する目標の進捗状況について

○委員からの主な意見

- ・医療的ケア児の場合、体力的に放課後に通うことができず体調を崩して休みがちになることが多く、看護師に医療的ケアがない障害児の支援をお願いしている現状がある。3号研修の受講等、看護師以外でも医療的ケア児を支援ができるような体制を整えていくことが重要。